

短期NZドル債オープン (資産成長型)

追加型投信／海外／債券

日経新聞掲載名：短NZ成長

2021年3月9日から2021年8月16日まで

第 **15** 期 償還日：2021年8月16日



受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは主としてマザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル(NZドル)建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。ここに当期の運用状況等をご報告いたします。

皆さまのご愛顧ありがとうございました。

 **三井住友DSアセットマネジメント**
〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

当期の状況

| | |
|------------|-----------|
| 償還価額(償還日) | 9,937円44銭 |
| 純資産総額(償還日) | 19百万円 |
| 騰落率(当期) | -1.5% |
| 分配金合計(当期) | 0円 |

※騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

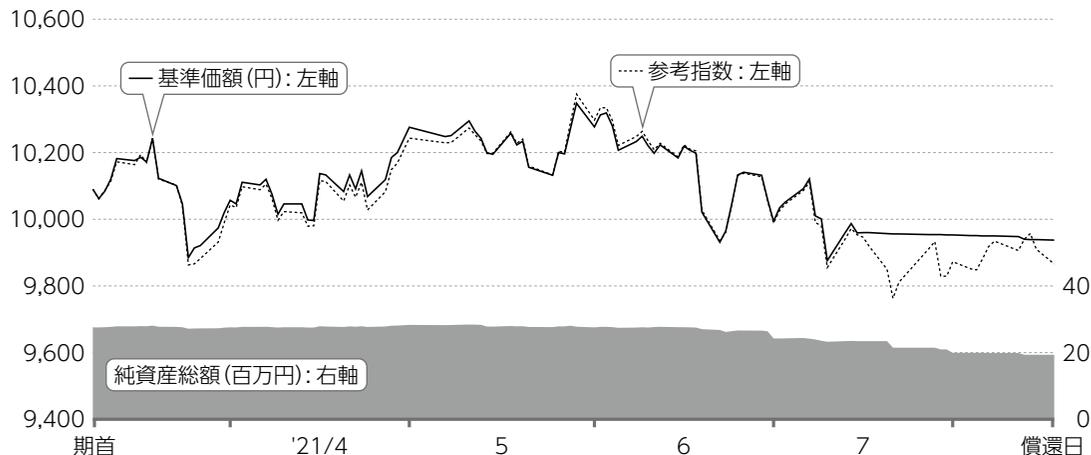
当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、次の手順でご覧いただけます。なお、印刷した「運用報告書(全体版)」はご請求により交付させていただきますので、販売会社までお問い合わせください。

[閲覧方法] <https://www.smd-am.co.jp/fund/unpo/> にアクセス→ファンド名を入力→検索結果からファンドを選択

1 運用経過

基準価額等の推移について(2021年3月9日から2021年8月16日まで)

基準価額等の推移



※参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

| | |
|-----|-----------|
| 期首 | 10,090円 |
| 償還日 | 9,937円44銭 |
| 騰落率 | -1.5% |

※当ファンドの参考指数は、Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) です。

※指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

基準価額の主な変動要因(2021年3月9日から2021年8月16日まで)

当ファンドは、短期NZドル債マザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品へ投資を行いました。

上昇要因

- 保有債券からインカム収入を得たこと

下落要因

- ニュージーランド・ドルが下落したこと

1万口当たりの費用明細(2021年3月9日から2021年8月16日まで)

| 項目 | 金額 | 比率 | 項目の概要 |
|-------------|------|---------|--|
| (a) 信託報酬 | 57円 | 0.561% | 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数) 期中の平均基準価額は10,094円です。 |
| (投信会社) | (28) | (0.274) | 投信会社:ファンド運用の指図等の対価 |
| (販売会社) | (27) | (0.272) | 販売会社:交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受託会社) | (1) | (0.015) | 受託会社:ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | - | - | 売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数 売買委託手数料:有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株式) | (-) | (-) | |
| (先物・オプション) | (-) | (-) | |
| (投資信託証券) | (-) | (-) | |
| (c) 有価証券取引税 | - | - | 有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数 有価証券取引税:有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株式) | (-) | (-) | |
| (公社債) | (-) | (-) | |
| (投資信託証券) | (-) | (-) | |
| (d) その他費用 | 11 | 0.111 | その他費用=期中のその他費用/期中の平均受益権口数 保管費用:海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 監査費用:監査法人に支払うファンドの監査費用 その他:信託事務の処理等に要するその他費用 |
| (保管費用) | (11) | (0.107) | |
| (監査費用) | (0) | (0.004) | |
| (その他) | (-) | (-) | |
| 合計 | 68 | 0.672 | |

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

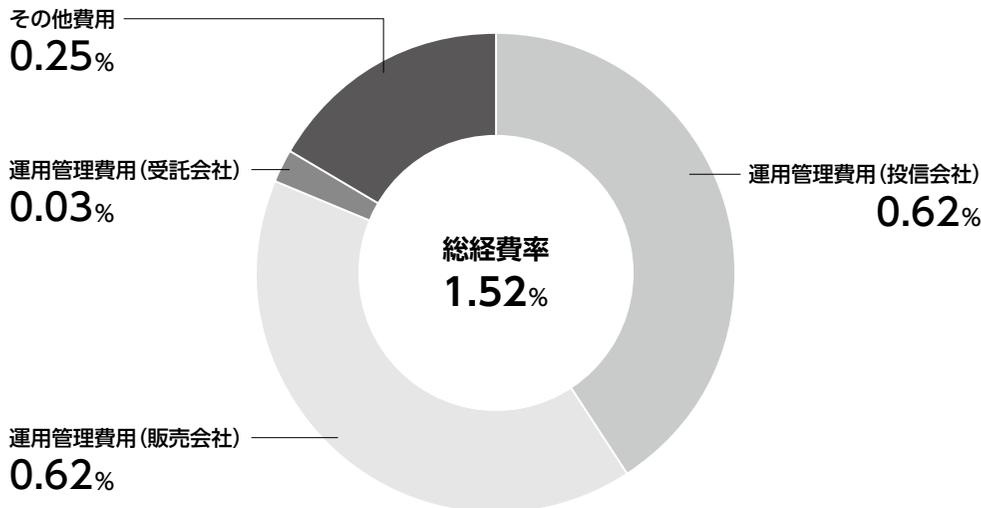
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。



参考情報 総経費率(年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

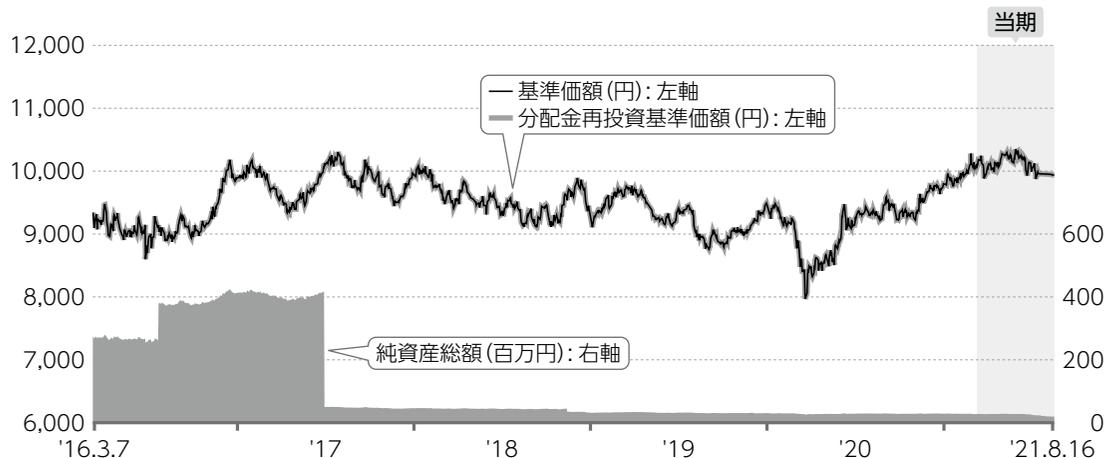
※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.52%です。

最近5年間の基準価額等の推移について(2016年3月7日から2021年8月16日まで)

最近5年間の推移



※分配金再投資基準価額は、2016年3月7日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

| | 2016.3.7 決算日 | 2017.3.7 決算日 | 2018.3.7 決算日 | 2019.3.7 決算日 | 2020.3.9 決算日 | 2021.3.8 決算日 | 2021.8.16 償還日 |
|-------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|
| 基準価額 (円) | 9,342 | 9,746 | 9,531 | 9,632 | 8,482 | 10,090 | 9,937.44 |
| 期間分配金合計(税引前) (円) | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | 4.3 | -2.2 | 1.1 | -11.9 | 19.0 | -1.5 |
| 参考指数騰落率 (%) | — | 5.6 | -1.0 | 0.7 | -12.5 | 20.9 | -2.2 |
| 純資産総額 (百万円) | 274 | 404 | 44 | 33 | 27 | 27 | 19 |

参考指数について

※当ファンドの参考指数は、Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) です。

※外国の指数は基準価額への反映を考慮した日付の値を使用しています。

※参考指数は投資対象資産の動向を示すために記載しています。

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

投資環境について(2021年3月9日から2021年8月16日まで)

主要国で新型コロナウイルスのワクチンの接種が開始されるなかで、グローバルに景気回復への期待が高まり、ニュージーランド債券市場でも3月までは利回りが上昇基調となりました。一方、3月以降は景気回復への期待を概ね織り込んだことや、新型コロナウイルスの変異ウイルスの影響から主要国で感染者数が再び増加したことで、

債券利回りの上昇は、ピークアウトしました。ニュージーランドでは、新型コロナウイルスの感染者数は抑制され、RBNZ(ニュージーランド準備銀行)は利上げに向かう姿勢を示したものの、グローバルな感染拡大による景気回復に対する期待の後退などから、利回りは上下しつつも横ばい圏で推移しました。

ポートフォリオについて(2021年3月9日から2021年8月16日まで)

当ファンド

主要投資対象である短期NZドル債マザーファンドを運用期間を通じて組み入れました。その後、2021年8月の償還に向けてマザーファンドを売却し、2021年8月16日に繰上償還いたしました。

短期NZドル債マザーファンド

期間の騰落率は、-1.0%となりました。

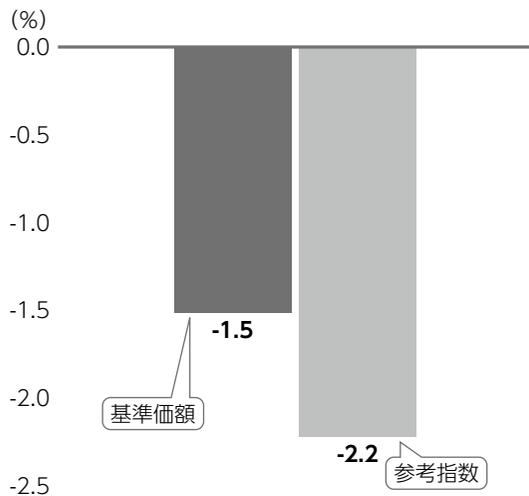
新型コロナウイルスのワクチンの普及によって経済正常化が進む過程で、中期的には再び債券利回りが上昇に向かうとの見通しのなか、新型コロナウイルスの感染拡大やRBNZ(ニュージーランド準備銀行)の金融引き締めが懸念され利回りが低下した

場面では、利回りの低下は一時的と見てデュレーション*を段階的に引き下げていきました。ニュージーランドではRBNZが他国に先駆けて利上げに向かうとの見通しもデュレーションを段階的に引き下げていく背景となりました。その後、2021年8月の償還に向けて保有債券を売却し、2021年8月13日に繰上償還いたしました。

*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い(大きい)ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

ベンチマークとの差異について(2021年3月9日から2021年8月16日まで)

基準価額と参考指数の騰落率対比



※基準価額は分配金再投資ベース

当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数として Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

分配金について(2021年3月9日から2021年8月16日まで)

償還のため、該当事項はございません。

2 お知らせ

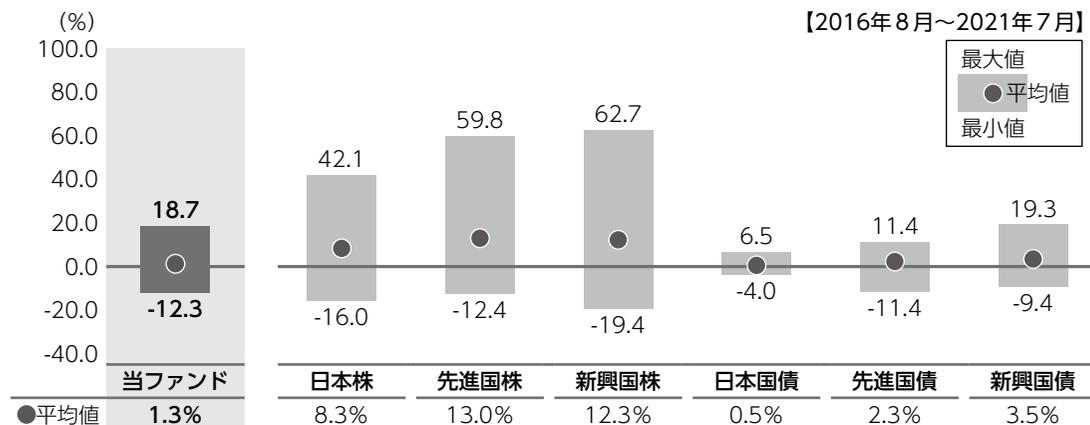
約款変更について

該当事項はございません。

3 当ファンドの概要

| | |
|--------------------|---|
| 商 品 分 類 | 追加型投信／海外／債券 |
| 信 託 期 間 | 2014年4月4日から2021年8月16日まで |
| 運 用 方 針 | 主としてマザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル(NZドル)建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。 |
| 主 要 投 資 対 象 | 当ファンドは以下のマザーファンドを主要投資対象とします。 短期NZドル債マザーファンド ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品 |
| 当 ファ ン ド の 運 用 方 法 | <ul style="list-style-type: none"> ■主として短期NZドル債マザーファンドへの投資を通じて、高格付けのNZドル建ての公社債および短期金融商品へ実質的に投資することにより、安定した利息収益の確保を目指します。 ■原則として為替ヘッジは行いません。 |
| 組 入 制 限 | <p>当ファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■株式への実質投資は行いません。 ■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 <p>短期NZドル債マザーファンド</p> <ul style="list-style-type: none"> ■株式への投資は行いません。 ■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 |
| 分 配 方 針 | <ul style="list-style-type: none"> ■年2回(原則として毎年3月および9月の7日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>資産成長型は複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)</p> </div> |

4 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※上記期間の月末ごとに、それぞれ直近1年間の騰落率を算出し、最大・平均・最小を表示しています。よって、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

各資産クラスの指数

| | |
|-------------|--|
| 日本株 | TOPIX (配当込み) 株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。 |
| 先進国株 | MSCI コクサイインデックス (グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。 |
| 新興国株 | MSCI エマージング・マーケット・インデックス (グロス配当込み、円ベース) MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。 |
| 日本国債 | NOMURA-BPI (国債) 野村証券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。 |
| 先進国債 | FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) FTSE Fixed Income LLCにより運営されている指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。 |
| 新興国債 | JPMオルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース) J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。 |

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしています。

※上記各指数に関する知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

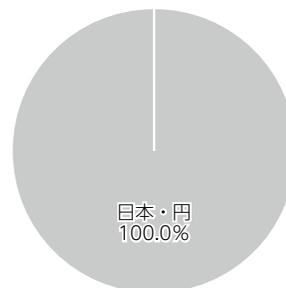
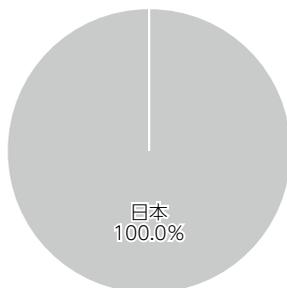
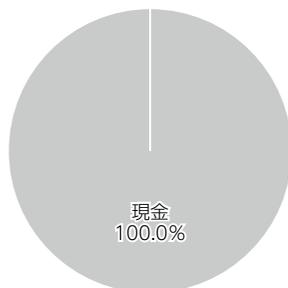
5 当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容(2021年8月16日)

組入れファンド等

償還日現在の組入れはありません。

資産別配分(純資産総額比) 国別配分(ポートフォリオ比) 通貨別配分(純資産総額比)



※未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

純資産等

| 項目 | 第15期末 2021年8月16日 |
|----------------|---------------------|
| 純資産総額 (円) | 19,344,583 |
| 受益権総口数 (口) | 19,466,363 |
| 1万口当たり基準価額 (円) | 9,937.44 |

※当期における、追加設定元本額は992,808円、解約元本額は8,863,491円です。

6 償還を迎えて

当ファンドは、2021年8月16日に繰上償還となりました。

皆さまのこれまでのご愛顧に御礼申し上げますとともに、今後とも弊社ファンドをお引立て賜りますよう、お願い申し上げます。